

Aサロン「自助力向上サロン」

現在のメンバーは下記の方々です。(敬称略)

田中晃、相原延光、長嶋ゆかり、釜石徹、荏本孝久、田中栄治、
なお、リーダーは田中栄治、副リーダーは長嶋ゆかりさん、記録係は田中晃さんです。

現在、9月17日の談義の会で自助力向上サロンの成果の発表をすることが決まっております。

無事に生き残ることを主眼にして最初のテーマ“首都直下地震に備える(仮称)”で横浜で

震度6強の地震が発生したことを想定に取り組みたいと思います。

その次には、風水害(洪水、土砂災害)

津波・地震火災・在宅避難の進め、家庭内の安全空間の確保のDIGなども検討していきたいと思います。

今後の進め方。

ー4月23日までにテーマのレジメを田中から皆さんにメールで送ります。

次回のZoom会議までに内容を検討していただく。(意見があれば随時メールください)

ー次回のZoom会議の日程

4月30日、5月1ー2日の各午後1時半から5時の間で都合のよろしい時間を連絡ください。

打合せは1時間30分以内をしたいと思います。

Bサロン「共助力向上サロン」

(現在のメンバー)

山田美智子 増田佳恵 稲垣博正 早川雅子 磯野一得 (敬称略)(皆会場で、zoom参加なし)

(役割)

リーダー:山田

副リーダー(記録):増田

【決まっていること】11月19日(金)定例会、談義の会 担当】

議事1. テーマ:「災害時人的被害ゼロ」を目指して「共助で何が出来るか?」を

「災害タイプ別に考え・提言」する＝自助と近所が命を守る。

地震：稲垣

津波：山田

洪水：早川

土砂災害：増田

避難所：磯野

自分の住む地域の災害リスクはそれぞれ異なる。

まずはそれぞれの地域の課題をテーマに沿って提出。(5月28日(金)の総会までに各自まとめる)

【事前対策】(平常時の備えと活動)【発災・被災直後】【事後対応】

地域別の災害リスクと対応 その中で共通の取り組んでいくプロセスを明確にしていだれでも使用できるマニュアルなど作成していく。最終的にはモデル地区で訓練実施。

★共助の最終目標は、被災死ゼロの達成。

Cサロン「自助・共助・公助統合サロン」

ホスト：鷲山龍太郎 元小学校長

参加者 山口 章 緑区にて地域防災拠点運営委員長

田中喜世美 神奈川区にて地域防災拠点運営委員

高松清美 「よこはま・七つ星」の代表 南区地域防災でも活動

杉本和子 二宮市で防災士として活動(養成講座に参加・鷲山の誘いに応じて参加)

・行政に対しては、要望を出すだけでなく、話し合ってお互いにできることで関係していくことが必要。(山口)

緑区では行政の方から歩み寄る様子も見られる。

・神奈川区でも、行政が地域住民と連携をとりたいとコーディネーター的な動きをしていることが認められる。(田中)

しかし、課題があり、行政側も悩んでいる様子。

・南区でも、行政の模索は感じられる。様々な連携の形がありうる。(高松)

・二宮では、多年に渡り、行政、住民防災組織との連携づくりに苦労してきた。

自治会内での縦割りも課題。(山本)

・学区での連携づくりで、自助・共助・公助連携の実現をしてきた。

太尾小学区は、その実践が評価された。

しかし、それを一般化していくためには、どうするかが2018年の夏のシンポジウムで課題として残った。

行政が努力するにも、どのように自助、共助、公助が連携していくかのガイドラインがないとやりようがない。

横浜の震災対策条例は、それぞれの責務は示しているが、実際にどのようなアクションで連携を実現していくかの

「アクションプランのない条例」である。

議員さんもこのサークルに入っていたら、まずは条例などの整備も視野に、

「自助・共助・公助連携」のガイドラインを模索したい。

・アクションプランのテーマ等について 概ね賛成だったが、もう少し時間をかけて議論したい。

・7月防災まちづくり談義の会の講師について、鷺山が基本的に行うが、大川小学校で娘さんが亡くなられた佐藤氏との

対談なども模索したい。太尾小、北綱小は、大川小の課題に対する答えでもあるので。

D サロン「時事防災課題サロン」

日時:2021年4月16日(金)15:30~16:30

会場:横浜市青少年育成センター 第一研修室(今回 Zoom 参加者なし)

出席者:池田、小林、佐々木、中島、樋口(D サロンリーダー)、吉開

閲覧資料(PC画面上に表示):D サロンアクションプラン、SDGs メモ

議事:

1.出席者の紹介(顔合わせ)

2.樋口がアクションプランを説明後、SDGsメモ(防災に関連すると思われる項目を示したリスト:エクセルの再表示で、SDGsの全体を見られます)を示した。

→Dサロンのメンバーにリストをメール配信し、どの項目に興味があるか「該当項目に名前を記入」してもらうことにした(添付参照)

*リストの出典:1 ページでわかる SDGs とは

<https://sdgs-support.or.jp/journal/sdgs>

3.SDGsに取り組んでいる専門家や行政職員に、話を聞いてみたらどうか。

→取組テーマの確認、アドバイスを受けるため

4.今回の参加者は、全員 Zoom が使える状態であることが分かった。

隔月の会合では、時間が空きすぎるので、必要に応じてオンラインで情報交換をしよう。

5.たまには、お楽しみ(まち歩きや、見学会等)があってもよい。